

平成27年度 消費生活相談の概要

1. 相談の状況

○相談総件数

1, 515件 (126件/月)

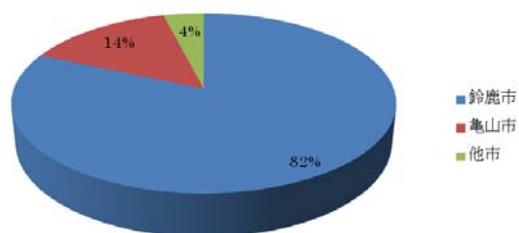
前年度比101.6%, 24件増

○相談者の住所別

鈴鹿市 1,236件

亀山市 219件

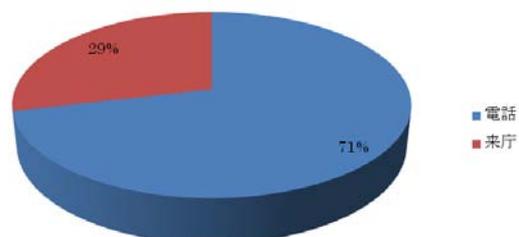
他市 60件



○相談方法別

電話による相談 1,080件

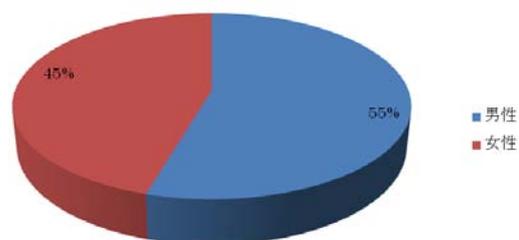
来所による相談 435件



○性別

男性 826件

女性 689件



○年代別

20歳未満 34件

20歳代 111件

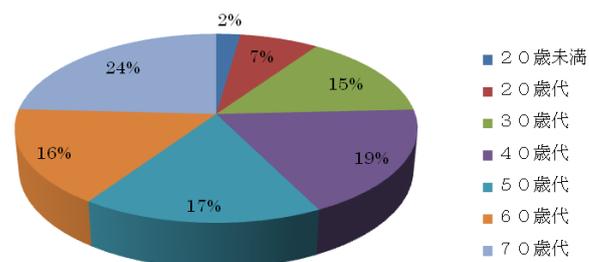
30歳代 222件

40歳代 279件

50歳代 255件

60歳代 248件

70歳以上 366件



○弁護士相談件数

90件

2. 相談の内容

○電子媒体（パソコン・携帯電話）における架空請求：334件（前年度260件）

パソコンや携帯電話画面での架空請求・不当請求に関する相談で、前年度に比べ74件増加しています。全体の相談件数の22%を占めています。

画面をクリックしただけでアダルトサイトに登録したことになり、登録料を請求する悪質サイト業者に関する相談が、幅広い年齢層で上位を占めています。

○不審な電話・訪問・郵便物に関する相談：80件（前年度100件）

不審な電話・訪問があった、架空請求のハガキが届いたという相談です。

○インターネット通信サービスに関する相談：84件（前年度79件）

大手電話会社を騙り、「この辺り一帯が光回線になり電話料金が安くなる」などと電話勧誘による契約や、遠隔操作によるプロバイダ契約の変更が行われたなどの相談です。

○不動産等賃借に関する相談：69件（前年度70件）

アパートの退去時における多額の修繕費の請求や、賃貸住宅の修繕トラブルに関する相談。

○融資サービス（サラ金・ヤミ金）相談：66件（前年度76件）

最近では、借金に関する相談は減少傾向にあります。

3. 啓発活動

○出前講座

- ・公民館，老人会，老人福祉施設等 66回（2,943人）
- ・小学生，PTA 2回（34人）
- 合計 68回（2,977人）